

合織ふとん

合織ふとんには、一般にポリエステル繊維のわたが使用される。
合織ふとんは、軽くて取扱いやすく、かさ高性に富むので、保湿性も高い。
ほこりや臭いもなく清潔で衛生的である。

ポリエステル繊維とは・・・

ナイロン、アクリルと並ぶ三大合織の一つ。1941年に英国で開発され、1958年（昭和33年）に日本でも生産されるようになる。
用途により長繊維（フィラメント）と短繊維（ステープル）に分けられる。
一般的にはふとんの詰めものには短繊維が使われる。また、最近では
ポリエステル繊維の断面形状が中空構造など、さまざまな断面形状のものが
開発され、新たな機能を付加している。

<合織ふとんの種類>

掛けふとん、敷きふとん、こたつふとん、座ぶとんなど。そのほかに中芯材としての使用も多い。ポリエステル100%、綿や羊毛わたとのミックスなど他繊維との組合せなど幅広く使用されている。

<合織ふとんの特性>

- ①軽さと保温性
- ②透湿性
- ③アレルギー体質の方に適している
- ④多彩な付加機能が開発されている

